HINODE JAPAN 2025
日本文化フェスティバル
イベント開催報告書



2025年10月18-19日 ティミリャーゼフセンター

（チャヤノフホール、ヴェルフニャヤ通り 6c1）

モスクワ

HINODE JAPAN 2025

10月18日と19日、ロシアの全ての日本ファン向けに日本文化フェスティバル、**HINODE JAPAN** の幕が再び開きました。 2012年の初開催以来、このイベントは**ロシア最大級の日本文化フェスティバル**としての地位を確固たるものにしています。オフライン形式開催のみを考慮すると、2025年は記念すべき10回目の開催でした。



遠藤 伊緒里、 実行委員会委員長



ハッダジ ヤーシャ、実行委員会委員長

プログラムはより充実したものになり、日本人特別ゲストとして著名な力士、歌手、声優、伝統芸術、現代芸術の職人、ポップカルチャーやコスプレの専門家など、**7組の創作団体やアーティスト**が参加しました。また、音楽家、ブロガー、声優、ダンスグループ、生け花や水墨画、格闘技の達人など、**20名以上**の才能あるロシアのアーティストや団体も参加しました。 来場者は、日本の最新ビデオゲームを試したり、伝統的なお祭りの遊びやボードゲームをしたり、餅つきをして試食したり、スタンプラリー形式のクエストをクリアして商品を獲得したりすることができました。 文化プログラムの一環として、日本の文化、芸術、スポーツ、娯楽などに関する**70以上の催し物**が行われました。

2025年のHINODE JAPANは、イベント数、パートナー数、イベント参加者数、来場者数が前回の規模を上回り、2日間で**8000人以上**が来場しました。

HINODE JAPAN 2025は人気急上昇中の新しい会場、教育・展示複合施設「**ティミリャーゼフセンター**」において開催されました。**20社以上**が展示即売会に出展し、**20名以上**がアートマーケットにて自身の作品を展示しました。フードコートでは来場者が日本料理やアジア料理などを味わうことができました。今回のスタイリッシュな新企画は、**6台の日本のレトロカー**展示でした。また、個別のコスプレイヤーブースや、職人によるウィッグ、クラフト、縫製に関する講義や相談会が行われるコスプレゾーンもありました。

コスプレは例年通り主要なイベントの1つになりました。HINODE JAPAN 2025では、形式や参加者の年齢別による異なるいくつかのコンテストが行われました。 メインイベントは**Hinode Cosplay Competition**です。これはソロコンテストで、参加者は自身で作った衣装や小道具を披露しました。コンテストの優勝者は、2026年4月に姫路で行われる**World Cosplay Summit Japan 2026** の代表選考会審査員として日本へ行きます。Hinode Cosplay Competitionは2年連続で開催され、世界最大のコスプレ大会のロシア国内選考会「World Cosplay Summit Russia」の伝統を引き継ぎ行われています。また、2025年には「Hinode ファミリープロジェクト」が復活し、5つの地域パートナーフェスティバルにおいてHinode Cosplay Competitionの予選大会が行われました。

主催団体 - **有限会社セゾングループ** (文化センター ジャパンハウス), **有限会社アチフカ、 E.N. International** (東京) - は、パートナー、スポンサー、ボランティア、参加者に感謝を申し上げます。 HINODE JAPANはロシアと日本間の文化的対話と絆の強化のために重要なプラットフォームであり続けます。そしてこのフェスティバルは日本と日本文化を愛する人を結び付け、成長と発展を続けていきます。

2026年、さらに大規模な日本の祭典に参加しましょう！

HINODE JAPAN 2025 | 概要と数値











Hinode Japanの主な目的は、ロシアで日本文化を普及させること、伝統的、現代的な日本文化に関する知識を広めること、そして両国間の文化的、商業的関係の強化とパートナーシップの発展です。

2025年、イベントは再びエキスポ形式で開催され、充実した文化プログラムと大規模な展示即売会が一体となりました。新たに人気を集めている「ティミリャーゼフセンター」、豪華ゲストの参加、効果的なPRキャンペーンのコンビネーションにより、目標を達成しただけでなく、印象的な成果を上げることができました。

HINODE JAPAN 2025 来場者数: 8045人

展示即売会とフードコート：

ショップ – 参加企業21社 (Ryatico trading house、日本語学校 J-Academy、Ultra Violet+Rush Hour、アチフカショップ、Japan Senkon、SATORI、NK-Jax、JCandy、KWC、Uncle Bombur's Shop、Maneki neko mirisela shop、Korshop、Neotour World、Royal Cosmetics、XL MEDIA、Tojiro knives、Tokado、Wonderland、Butcher Wear, Pokebarn)、6台の展示車用バケツエンパイア専用ブース

フードコート: 3つのレストランプロジェクト (Toyosu、KU:Ramen、Pyan-Se)

アートマーケット: 21名の参加者

コスプレブース: 3名の参加者 (Felvelial、Christina Cosplay (Likeassassin)、Gesha)

文化的プログラム:

2日間にわたる日本文化フェスティバルでは、30のショーとステージパフォーマンス、5つのコスプレブロック、15のクリエイティブなマスタークラスとレクチャー、運動スペースにおける17のデモンストレーションとワークショップ、10のサイン会、1つのアートパフォーマンス、1つのクエストレースを含む**70以上の催し**が行われました。

Hinode Japan 2025 では**日本から7組のクリエイティブチームとアーティスト、ロシアからは20組以上のアーティストと団体**が参加しました。コンテストには200名以上がノミネートし、Hinode Cosplay Competitionの優勝とWCS JAPANの選考会審査員の座をかけて20名のコスプレイヤーが競い合いました。

サイトとSNS:

VKontakte: ページ登録者数 25000人以上
Telegram:チャンネル登録数 1500人以上

フェスティバルサイト:**訪問者数 165636回**
(9月-10月 Similar Web調べ)

HINODE JAPAN 2025 | 広告とメディア報道



TVの力士インタビュー（Moscow24）



ブロガーグループ内の告知投稿



Metro Moscow新聞の表紙

ターゲティング広告や屋外広告などの手段を使わず、従来のPRとSNS上での告知キャンペーン（チャンネルやブログ投稿）を組み合わせることで、印象的なメディア露出を実現できました。昨年に比べ、TV報道も含めてメディアで広く取り上げられました。

全体的な結果：

- **277の出版物**（うち173は告知）
- **11回のTV出演**（放送＋ウェブサイト）
- **145のメディア露出**（うち104は告知）
- **121回のSNS投稿**（うち69回は告知）

140 000 000 以上のインプレッション数

9のメディアが情報パートナーとして参加しました：

- Radio DFM（主要情報パートナー）
- Metro Moscow
- Kommersant Weekend
- Internet portal Championat
- SRSLY
- KP Afisha
- theGirl
- Internet portal Shikimori
- Perspéctum

出版物の主なトピックス: レジャー、ライフスタイル、都市イベント、ゲーム、エンタメ、若者向けメディア、スポーツ、アニメ

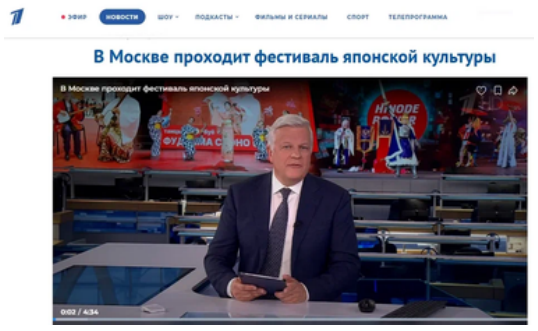
HINODE JAPAN 2025 | 広告とメディア報道



トレチャコフ美術館内のヴァスネツォフの絵画「勇士たち」の前でフォトセッションをする豊ノ島と大喜鵬



TV出演する力士たち
（ショー「Morning TNT」）



チャンネル1の報道



日本テレビの報道

総合PRキャンペーンの一環として行われた力士によるプレスツアー

60年ぶりに日本人の元大相撲関脇力士、豊ノ島大樹さんと元前頭の大喜鵬将大さんがロシアを訪問したことは、フェスティバルの特別な催しとなりました。告知PRキャンペーンの一環として、力士らによるプレスツアーという特別プロジェクトが実施されました。

ロシアでは充実したプログラム（トレチャコフ美術館とグム百貨店への訪問（これに関してメディアでも報道されました）、連邦TV局（TVC, Moscow24、 TNT）でのインテグレーションとインタビュー、メディアとブロガー（Metro Moscow、Championat、 News.ru、モスクワ市ニュースエージェンシー「Moscow」など）向け記者会見などが力士らを待っていました。

プレスツアーの結果、**24回のメディア出演、ソーシャルネットワーク上で22の投稿**があり、総リーチ数は**1億人**を超えました。

ロシアと日本のメディアによるフェスティバルに関する報道

情報パートナーに加えて、以下のジャーナリストもイベントを訪問しました：

- 大手TV局（チャンネル1、TNT、REN TV、OTR、TEO-TV、その他）
- 印刷物（ヴェチェルニャヤ モスクワ）
- インターネットポータル（イズベスチヤ、Novosti Mail、cubiq、モスクワ市ニュースエージェンシー「Moscow」、ALLFEST.ru、その他）
- 専門誌（costime、GameMAG、 ProGamer、その他）

同様に日本のメディアでも取り上げられました：

- 日本テレビ
- 時事通信
- Yahooニュース
- ジェトロ
- 毎日新聞
- 産経新聞
- スプートニク

その他

HINODE JAPAN 2025 ｜ 会場



ティミリャーゼフセンター



チャヤノフホール



チャヤノフホール

教育・展示複合施設 ティミリャーゼフセンター内「チャヤノフホール」

📍モスクワ、ヴェルフニャヤ通り 6c1

モスクワで最も新しく最大級の展示センターの1つ

- 40000平方メートルの複合施設
- 3つの多機能パビリオン / 18000平方メートルの展示スペース（収容人数20000人）
- カンファレンスホール（収容人数450人）
- センター施設の発展したインフラと最新の技術的解決策
- 急速に人気を集めている新会場。Hinode Japanに続き Igromir & Comiccon 2025の主催者もこの会場を選択

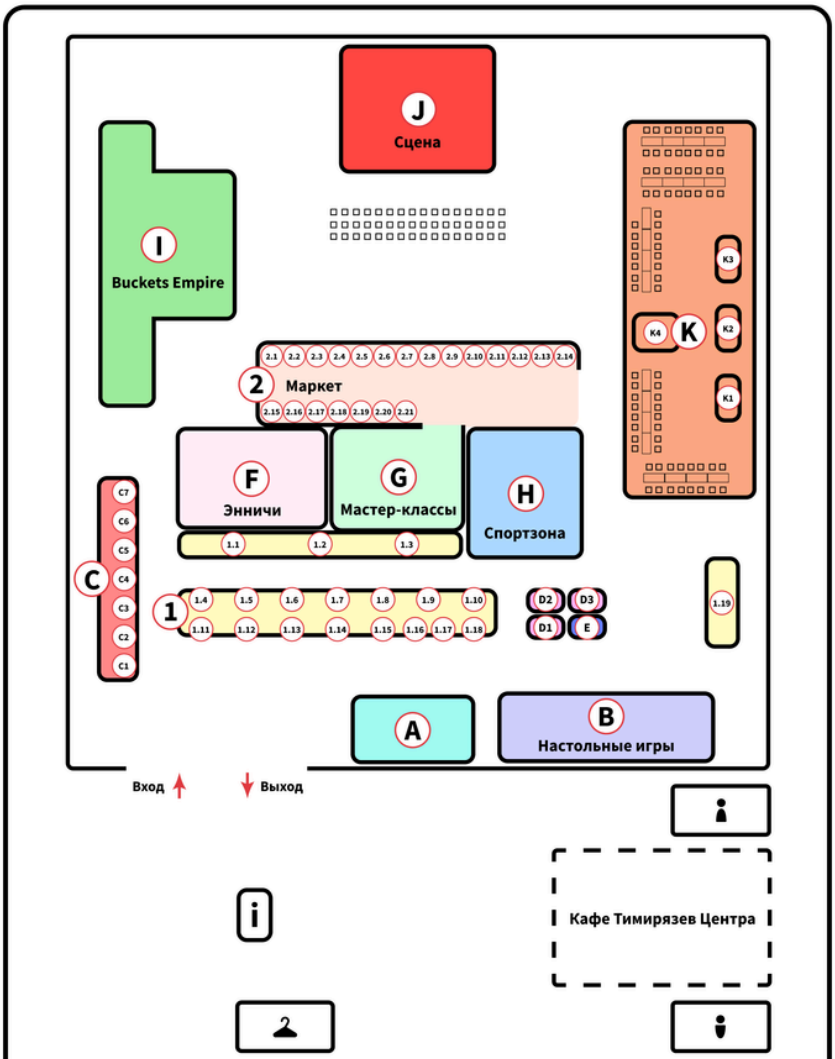
好立地に位置するセンター

- 地下鉄駅から近い（ペトロフカ - ラズモフスカヤ駅から徒歩7分）
- 中心部から近い（サドーヴォエ環状道路から車で20分）
- 近くに複数の公園があり、便利な公共インフラが整っている



ティミリャーゼフセンター

HINODE JAPAN 2025 | 会場案内図



Карта HINODE JAPAN

- A Pokebarn
- B Настольные игры
- C Видеоигры
  - C1 Ghost of Yotei
  - C2 Sonic Racing Crossworlds
  - C3 Pokemon Legends Z-A
  - C4 Demon Slayer Kimetsu no Yaiba - The Hinokami Chronicles 2
  - C5 Little Nightmares III
  - C6 Baki Hanma Blood Arena
  - C7 Just Dance 2026 Edition
- D1 Косплеер Felvelial
- D2 Косплеер Christina Cosplay
- D3 Косплеер Gesha
- E Зона автограф-сессий
- F Энничи
- G Мастер-классы
- H Спортзона
- I Buckets Empire
- J Сцена
- K Фудкорт
  - K1 Toyosu
  - K2 [KU:] РАМЕН ИЗАКАЯ
  - K3 ПЯН СЕ
  - K4 Шоу мотицуки
- 1 Торговая зона
  - 1.1 Секреты японского совершенства
  - 1.2 Школа японского языка J-Academy
  - 1.3 Мне Ультрафиолетово и Час Пик
  - 1.4 MANEKI-NEKO
  - 1.5 КОРШОП.РУ
  - 1.6 Neotour World
  - 1.7 Royal Cosmetics
  - 1.8 XL MEDIA
  - 1.9 Японские ножи TOJIRO
  - 1.10 ТОКАДО
  - 1.11 JAPAN-SENKON
  - 1.12 ТД САТОРИ
  - 1.13 NK-JAX
  - 1.14 JCANDY
  - 1.15 KWC
  - 1.16 WONDERLAND
  - 1.17 Butcher Wear
  - 1.18 Лавка дядюшки Бомбура
  - 1.19 Магазин Ачивка
- 2 Маркет
  - 2.1 DOMFANDOM
  - 2.2 Аниме магазин Кирилла Соерова
  - 2.3 Ex Libris | Akerohoshi
  - 2.4 Darlert
  - 2.5 Мастерская "Кармартен"
  - 2.6 Карки
  - 2.7 Amaneki
  - 2.8 Кошаса
  - 2.9 Мастерская GREMITTI
  - 2.10 Shadowy soul
  - 2.11 Mavi Mavi
  - 2.12 Mioksi Glitter Bar
  - 2.13 ANIMagic
  - 2.14 NO KIDS Stickers | NKS
  - 2.15 Q Shu
  - 2.16 Взмах хвоста
  - 2.17 Анимерч
  - 2.18 Duck machine
  - 2.19 Мастерская Хави
  - 2.20 Логово Мимика
  - 2.21 Fandomania
- Информационная стойка
- Туалет
- Гардероб

日本とロシアの特別ゲスト

名誉ゲスト



武藤 顕
駐ロシア日本国特命全権大使

Hikari's Voiceと出演



林 直樹
アドバイザー、在ロシア日本国大使館広報文化部長

力士に関するQ&A



ミンナフメトフ ジャウダト
全ロシア公共組織「クラッシュ ロシア連盟」会長

HINODE JAPAN 2025 ｜ コンテンツ：豪華ゲスト

日本人アーティストと特別ゲスト

ヘッドライナー



平野綾

歌手、声優

ヘッドライナー



豊ノ島大樹

元大相撲力士

ヘッドライナー



大喜鵬将大

元大相撲力士



木全靖陛

画家



Enishi

パフォーマンスアーティスト



ワナビーズ （ビックスモールン）

お笑いトリオ

会場でのショー



廣瀬 功

餅つきショー

審査員



FRAN

トップコスプレイヤー

WCS日本選考会主催者

ロシア人アーティストと特別ゲスト



Ancord (コズロフ ヴィチスラフ)
声優、ブロガー



Commander イリヤ
ゲームブロガー



Olidushka (Loli Samurai)
コスプレイヤー、ブロガー



クルチ イリヤ
コメディアン、ブロガー

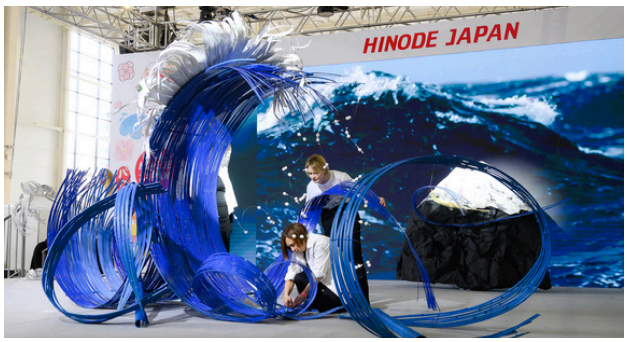


ブロヒナ ダリヤ
声優、テレビ司会者、ブロガー

ロシアの団体と企業、コラボレーション



Hikari's Voice
ジャズグループ



ムンドゥズバエワ チナラと弟子
生け花パフォーマンス



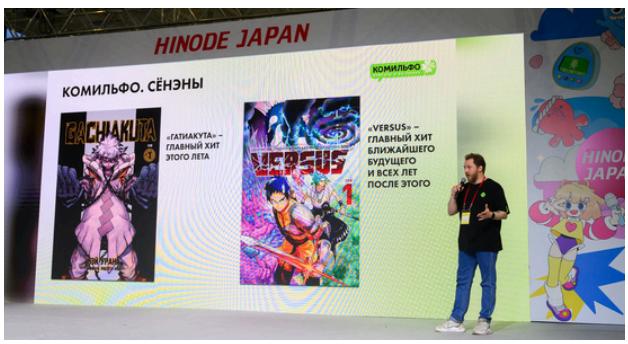
Akatsuki Drums
太鼓ショーグループ



RADOPI
ポップロックグループ



奇跡の花
日本舞踊



Komilfo
漫画、コミックス出版社

HINODE JAPAN 2025 | コンテンツ：レクチャー、ワークショップ

ワークショップゾーン：

墨絵（木全靖陛、墨絵学校 ジャパンハウス）| **折り紙**（日本文化基金「Kaname」）| **歌舞伎化粧**（モスクワ歌舞伎劇場）| **漫画の描き方**（ManaMake）| **日本語** (Konnichiwa Club) | **コスプレの基礎** | **コスプレ衣装の分析** | **コスプレウィッグ**（コスプレマスター団体）| **コスプレと写真**（ByGreenOrg）| 日本の美の秘密（AICOSME.STORE）| **コスプレクラフト EVA**（Tomash Roodaka）





スポーツゾーン：

かるた競技（モスクワかるたクラブ）| **空手** | **剣術** | **居合道 + 抜刀術** | **柔術** | **合気道** | **古武道**（モスクワ武術連盟）| **相撲**（豊ノ島、大喜鵬、モスクワ相撲連盟）| **アクロバティックスタンドアップ**（ワナビーズ（ビックスモールン）| **盆踊り**（奇跡の花）| **剣道**（Hebikan）| **けん玉**（KendamaLab）| **太鼓、日本の笛、禅の舞踏によるパフォーマンス**（Drum Mountain 鼓山）





縁日（日本の伝統的なお祭り遊びのエリア）：

だるま落とし | ヨーヨー釣り | 型抜き | 福笑い | 指相撲 | 豆運び | カエル飛ばし | おみくじ | 水御籤 | 水引





HINODE JAPAN 2025 | 展示即売会

ショップゾーン：

20社の参加企業分野：化粧品とスキンケア商品 | 飲料、食品、お菓子 | 教育 | 玩具とお土産 | 書籍、漫画 | アニメグッズ、フィギュア | アクセサリー | 衣料品 | カトラリー、食器 | ツアー | ビデオゲーム






フードコート：

ラーメン、巻き寿司、 餃子、餅、 ピャンセ（肉まん）、バブルティー、その他日本料理とアジア料理の飲み物と食べ物

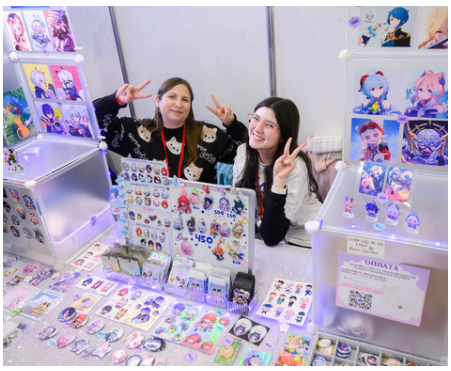





マーケット：

21組の参加者 — 以下の分野の作家、職人、企業：
イラスト、アート | 玩具、お土産、インテリア用品 | 文房具、ステッカー | アニメグッズ、フィギュア | アクセサリー、ジュエリー | 衣料品






ビデオゲームゾーン：

日本文化フェスティバルでは2025年の新作ビデオゲーム展示ゾーンが設けられました。全てのゲームは日本企業によって開発もしくは発売されており、
フェスティバルの精神を一層強調しました。

来場者がプレイできたゲーム：

- ゴーストオブヨウテイ
- ソニックレーシング クロスワールド
- Pokemon Legends Z-A
- 鬼滅の刃 ヒノカミ血風譚2
- リトルナイアトメア3
- 範馬刃牙: Blood Arena







隣にはジャストダンス2026エディションのダンスシミュレーターゾーンが設けられ、近年のヒット曲に合わせて誰でもダンススキルを披露したり磨いたりすることができました。







HINODE JAPAN 2025 | コンテンツ：個々のゾーン

ライブペインティング：

日本人画家の木全靖陛さんはライブアートパフォーマンスで観客を魅了しました。ステージ上で2026年の象徴として高貴な白馬を描き、Hinode Japan主催者と共にティミリャーゼフセンターへ贈呈しました。さらに、フェスティバル開催期間を通じて会場で忍者と龍の絵の制作に取り組みました。







ボードゲームと娯楽ゾーン：

碁、将棋、五目（モスクワ碁連盟）| 日本麻雀（「Furin」クラブ) | 花札と金毘羅船々（モスクワ歌舞伎劇場）| けん玉 (KendamaLab) | ポケモンカードゲーム（Pokebarn）







餅つきショー：

Hinode Japanの会場では2日間を通して、シェフ廣瀬功さんの指導の下、餅の作り方を学び、希望者全員が試食できるという見応えある料理ショーが行われました。







HINODE JAPAN 2025 | コンテンツ：個々のゾーン

レトロカー展示：

バケツエンパイアによる6台のユニークな日本のレトロカー展示






サイン会ゾーン：

フェスティバルで希望者は平野綾、豊ノ島と大喜鵬（手形）、Enishi + ワナビーズ （ビックスモールン）、 Commander イリヤ 、 クルチ イリヤ、ブロヒナ ダリヤ、 Ancord + Olidushka（Loli Samurai）のサインをもらうことができました。







コスプレコーナーとブース：

- フェスティバル開催中、デモンストレーション、相談、ワークショップとレクチャーが行われ、更にウィッグ、クラフト及び縫製の職人らによる衣装のSOS-お助けコーナーが設けられました。
- 人気コスプレイヤーの個人ブース：Gesha、Christina Cosplay (Likeassassin)、Felvelial





HINODE JAPAN 2025 | クエストラリー、カタログ

クエストラリー：

フェスティバル開催期間中、希望者全員参加型のクリアスピード重視のクエストレースが行われました。これは2年連続で行われ、来場者の間で大きな反響を呼んでいます。参加者は開催場所のブースを探し簡単な課題をクリアすると、特別なスタンプラリー台紙に、テーマに沿ったスタンプを押してもらえました。全てのスタンプを集めると、Hinode Japanから物品、記念品、その他素敵な賞品が贈られました。他にも参加、パートナー社である出版社「Komilfo」から漫画、商社「SATORI」からスキンケア用品ミニセット、オンラインストリーミングサービス「Ivi」からサブスク料金、高級日本料理店「誠司」からディナー券とその他賞品が贈られました。参加できなかった来場者には残念賞が渡されました。土曜日と日曜日でそれぞれ開催ブースは異なりました。

2025年の参加ブース：日本語学校 J-Academy、Ryatico trading house、Rush Hour、SATORI、Pokebarn、Butcher Wear、Tokado、JCandy、アチフカショップ、工房 Gremitti、Amaneki、Vzmakh khvosta



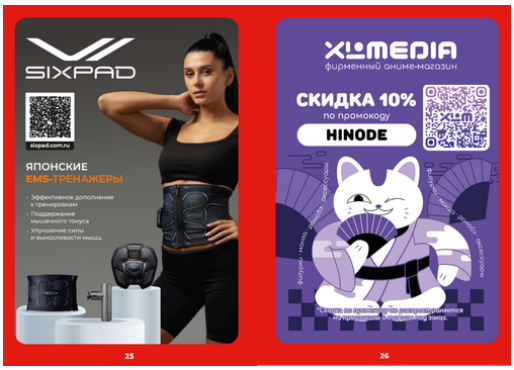




カタログ：

2025年の新しい試みの1つとして、Hinode Japan来場者全員に会場入口でカタログが配られました。このカタログは雑誌形式で、パートナー企業情報、出店ブースやフードコートの情報、フェスティバルのソーシャルメディアへのリンク、クエストレースの参加フォームが掲載されていました。







HCC 2025の優勝者



舞台上の演技



スポーツゾーンにて衣装を鑑賞



出場者によるグループフォトセッション

Hinode Cosplay Competition（HCC）

フェスティバルの中心的イベントの1つはHinode Cosplay Competitionです。これは日本作品を基にしたコスプレソロコンテストで、自作の衣装と小道具、パフォーマンスを披露します。

コンテストの優勝者には**World Cosplay Summit Japan 2026**（2026年4月11日～12日、姫路市で開催されるHimeCON内にて行われる）の**予選ラウンド審査員**として、日本への旅行が贈られます。今回の優勝者は、怪獣8号の鳴海弦に扮したKuramaさんでした。旅行の他にも、Hinode Japan、パートナーである出版社「Komilfo」、オンラインストリーミングサービス社「Ivi」からコンテスト賞品が贈られました。

現在、参加が中断中である世界最大のコスプレ大会の国内選考会 World Cosplay Summit Russia の伝統を引き継ぎ、HCCは2年連続で開催されています。HCC 2025は、長年衣装制作やクラフトに携わっているFran、Lady Ten、Agnes Aki、Adelhaid、Faeryx、Tomash Roodakaらによって審査されました。

Hinodeファミリー

2025年、ユニークなプロジェクト「Hinode ファミリー」が復活しました。各地域のパートナーフェスティバルにおいて、Hinode Cosplay Competitionの予選会が行われました。優勝者は自動的にHinode Japanへの参加が認められます。予選は以下の5都市で行われました：

- ヤロスラヴリ（Festival of Asian Popular culture）
- ペルミ（PANICOMIX）
- エカテリンブルグ（AsiaBriz）
- カリーニングラード（Panicon!）
- クラスノダール（Fandom Balkon）

「Hinodeファミリー」プロジェクトは、地方の才能あるコスプレイヤーがロシア全土や国際レベルでその実力を発揮し、自らをアピールできる場を提供しています。

その他のコスプレコンテスト：

フェスティバルでは他にも複数のコスプレコンテストが開催されていて、多くの参加者が集まります。2025年は「ペアデフィレ」がコンテストの中で特に人気があり、応募総数の半数以上を占めました。



ペアデフィレ

ノミネーション「イースト」,「ウエスト」,
「グランプリ」（自作衣装）



チームパフォーマンス

ノミネーション「審査員賞」,「観客賞」

非競争的パフォーマンスとキッズコスプレ：

明確な参加条件がある大人向けコンテストの他にも、子供のコスプレブロックや非競争で幅広い観客に自分の才能をアピールできる機会がありました。
また、毎年ステージプログラム参加者だけでなく、来場者もお気に入りのキャラクターに変身して楽しんでおり、会場内は幻想的で鮮やかな、唯一無二の雰囲気を作り出しています。



キッズデフィレ

参加者全員にHinode Japanと
JCandyから賞品が贈られます



非競争的舞台

あらゆる形式でのパフォーマンス：
寸劇、歌、デフィレ、ダンスなど



来場者

「涼宮ハルヒの憂鬱」のキャラクター
ーコスプレ

HINODE JAPAN 2025 | ブランド認知



カタログを手に写真を撮る来場者
カタログと背景にキービジュアルが見える



コスプレイヤーとミミとミーシャ
右後方にキービジュアルのAkariが見える



お守りキーホルダー、ステッカー、
ステッカーセット

この日本文化フェスティバルは、会場内およびソーシャルメディアを通じて来場者と積極的に交流し、独自の伝統、歴史、理念、そして特性を持つHinode Japanのブランド認知度の向上と維持に努めています。

Hinode Japanのマスコットとアンバサダー

Hinode Japanの初回開催から少し経ってマスコットが誕生しました。ロシアと日本の友好を象徴した2匹のうさぎ、**ミミとミーシャ**です。ミミとミーシャのイメージはHinode Japanというブランドにとって重要な要素であり、そのビジュアルは全てのプロモーション資料やフェスティバルのキービジュアルに使用されています。希望者は会場でマスコットと一緒に写真撮影をすることもできました。

2022年からはHinode Japanのバーチャル新人記者のVチューバー、Akariがアンバサダーとして参加しています。彼女は日本のニュースやアニメ、日本の生活、習慣などについての興味深い事実をYouTubeチャンネル- HiAkariRuで紹介しています。

Hinode Japanの物品

ブランドの人気と認知度を高めるために重要なチャネルはブランドグッズとお土産です。今年はユニークな物品の開発に力を注ぎました。日本で人気のお守りをモチーフにしたアクリルキーホルダーや、日本風にデザインされた2025年の限定キャラクターキービジュアルの3Dステッカーとステッカーセットが作られました。

HINODE JAPAN 2025 | 観客の特徴

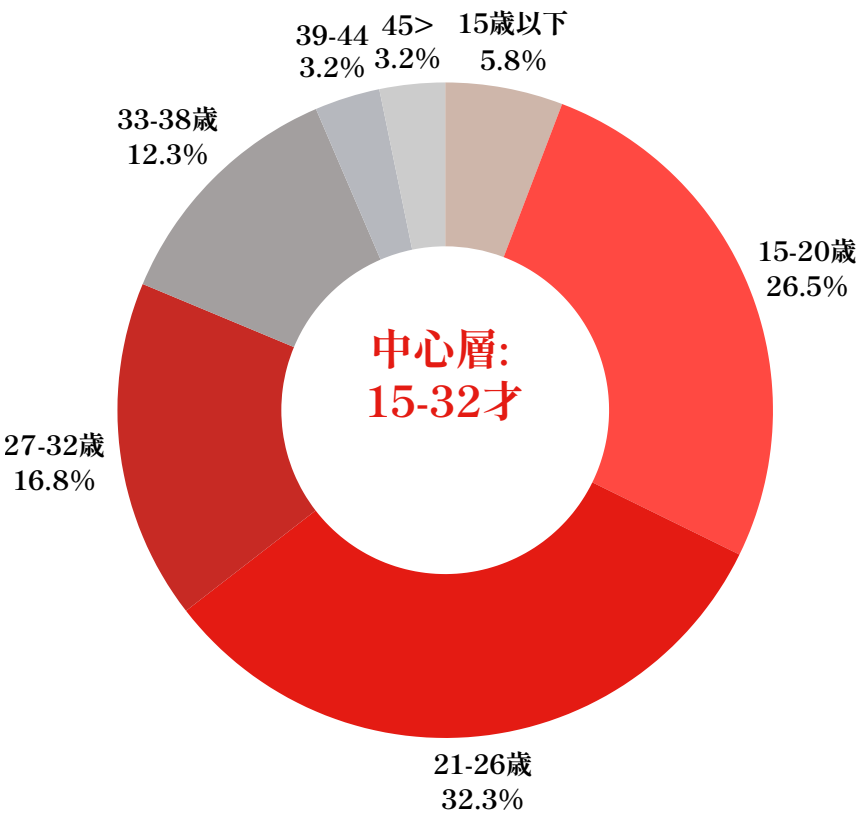
Hinode Japan 2025の平均的な来場者：

（会場でのアンケート結果に基づく）

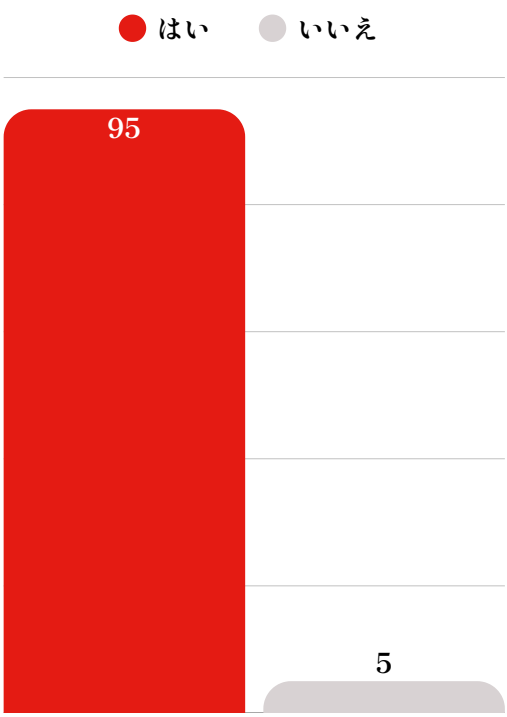


- 32歳以下
- SNSのアクティブユーザー
- 日本に興味を持っている友達がたくさんいる
- フェスティバルの出演者、出展者、プログラムに興味がある、または新商品や限定品を買うために来場した
- プログラム、コンテンツ、ショップに満足した
- Hinode Japan 2026も行きたい

年齢：



「Hinode Japan 2026」に行きたいですか？



HINODE JAPAN 2025 | 来場者と参加者からの口コミ

これは本当に... 最高でした!
たくさんのお客さんが来て休憩する間もなく販売しました。満足しかないです。

最高に驚異的で楽しくて感動でいっぱいのフェスティバルでした。来場者としてもパートナーとしてもお勧めします！

ブース Duck Machine、マーケットゾーン

私はグリーンレンジャーの格好で参加しました。2019年に初めてHinodeに行った時の雰囲気、もしくはそれ以上でとても良かったです。

フェスティバルが続いていること、そして鮮やかな思い出をくれることがとても嬉しいです。今後もまた来ます！

グリーンレンジャー、来場者・コスプレイヤー

フェスティバル開催は最高レベルでした！ 様々なプログラム、日本からのゲスト、興味深いワークショップ、Ikebana Internationalによる生け花のデモンストレーション、ダンスや音楽グループ、そしてもちろんコスプレ大会の出場アーティストたち。信じられないほど幻想的な日本アニメの衣装。全員と写真が撮りたいくらいでした！フェスティバルには、大人から子供まで様々なお客さんがいて、楽しそうに力士と対戦したりコンピューターゲームをしていました！

Hinodeフェスティバルの主催チーム全員に感謝します！

サヴェリエヴァ ユリヤ、グループ「Hikari's Voice」

今週末、日本文化フェスティバル「Hinode Japan」がありました。私たちのクラブはデモンストレーションと希望者に向けてワークショップを行いました。

招待していただいた主催者様、武道へ関心を持ち、公開トレーニングに熱心に参加してくれた参加者の皆様に感謝を申し上げます。また会いましょう！

剣道クラブ「Hebikan」

素晴らしいイベントと素晴らしい司会者、驚異的な来場者など、フェスティバルの主催者の方々、本当にありがとうございます！

10月18日と19日は全ての日本文化ファンにとっての真のフォーラムであり、リラックスしたり、インスピレーションを受けたり、同じ想いを持つ人達との交流に理想的な場所でした！

ミハイル、来場者

感動と舞台出演の機会をいただきありがとうございます！ Hinodeは私の最も好きなフェスティバルの1つで、2018年か2019年から毎回来ています。ボランティアの人は本当に素晴らしかったです。あらゆる事を知っていて、何かあった時には何でも教えてくれました。特に主催者とステージボランティアの人達にはお礼を言いたいです。アクティビティがとても多く、充実したプログラムでした。Hinodeが大好きです。次回開催を待っています！

ダリヤ、コスプレコンテスト出場者

素晴らしいフェスティバル、ありがとう！来年はコスプレして参加できるといいな(・∀・) 平野綾のコンサートに行けて、サインも貰えて凄く良かったし、超嬉しかった！

マルタ、来場者

先週末、同僚たちと一緒にHinode Japanにコスプレ職人のブースを出展し、数多くのワークショップやレクチャーを行ったり、希望者全員の衣装やウィッグのサポートをしたり、私たちの作品を紹介したり、コスプレに関するあらゆる相談にのりました。

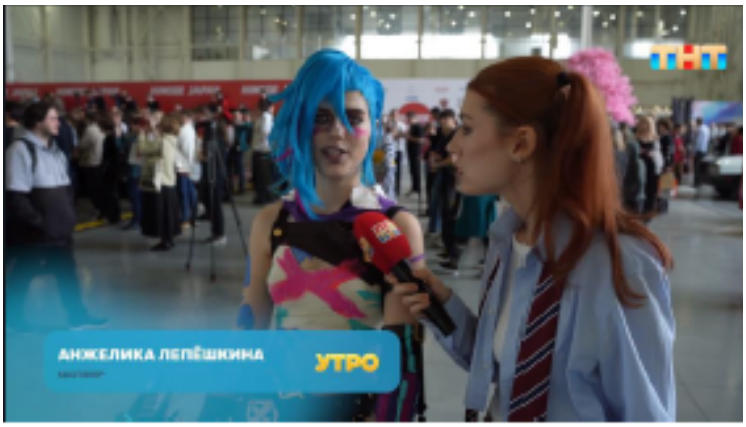
私は準備と会場整備担当だったので、私たちのブース出展を許可してくれたこと、会場における全ての支援、管理、そしてあらゆる可能性の提供について、イベント主催者の方に本当に感謝しています！2日間激務だったにも関わらず、地方から来た者含めて全員が満足していて、来年また来る準備が既にできています！

ミム、コスプレブース出展者、コスプレ大会審査員

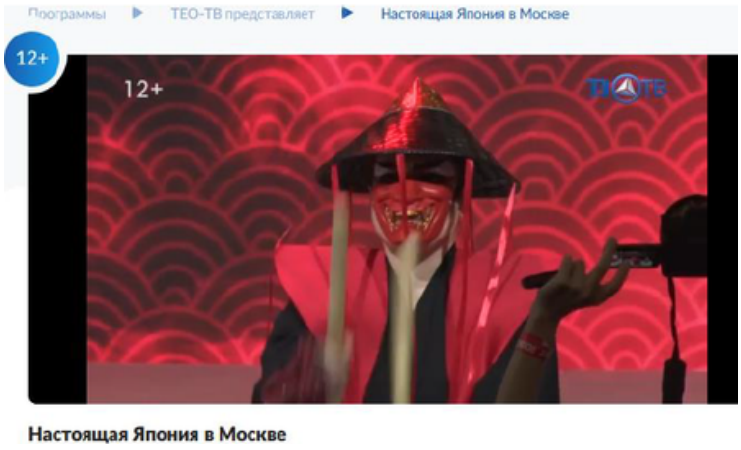
HINODE JAPAN 2025 ｜ いくつかの取材（ロシア）



チャンネル１



TNT



TEO-TV



ヴェチェルニャヤ モスクワ
（印刷物）



cubiq

HINODE JAPAN 2025 | いくつかの報道（日本）



日本テレビ



産経新聞



毎日新聞



時事通信



朝日新聞

HINODE JAPAN 2025 | 主催社とパートナー

主催団体：

文化センター ジャパンハウス
(有限会社セゾングループ)

アチフカ

E.N. International (東京)

パートナー：

出版社 Komilfo

オンラインシネマ Ivi

モスクワ武術連盟

主要情報パートナー：

Radio DFM

情報パートナー：

Metro Moscow

Kommersant Weekend

Championat

theGirl

SRSLY

KP Afisha

Shikimori

perspectum

HINODE JAPAN 2026

日付：2026年10月２日、３日、４日
場所：AMBER PLAZA
日本文化の世界で、また皆さまとお会いできる日を楽しみにしています!



フェスティバル実行委員会

有限会社 セゾングループ
（文化センター ジャパンハウス）
ロシア、モスクワ市、サーヴィンスカヤ河岸通り15番地

+7 (495) 258-43-21
info@hinode.asia

日本窓口：
有限会社イ・エヌ・インターナショナル
(E.N.International Inc.)
〒160-0011 東京都新宿区若葉1-6
エンゼルボックス102

03-5919-2653
eni@e-n-inter.jp

オフィシャルサイト： https://hinode-japan.ru/